

## 新医学系指针对応「情報公開文書」改訂ひな形

### 研究課題名：

#### 精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究

Effectiveness of GUIDeline for Dissemination and Education in psychiatric treatment: (EGUIDE)

### 1. 研究の対象

2016年4月1日以降に名古屋大学医学部附属病院の2E病棟において精神疾患の入院治療を受けて退院した患者さん。

### 2. 研究目的・方法

医療が目覚しく進歩した現代社会においても、こころの病は患者さんの苦しみはもちろんのこと、社会に及ぼす影響も大きいことが知られています。病気等の寿命短縮年数と生活障害をおよぼす健康寿命の合計した健康被害の指標（障害調整生命年 disability adjusted life years DALY）によると、日本のDALYでは精神疾患は19%と第一位であり、がん(18%)、心血管障害(16%)と続き、自殺も4%を占めています。精神疾患の診断や治療に関する研究が進められ、そのエビデンスに基づく診療ガイドラインも作成されていますが、それが実地臨床に反映され、役立っているかどうかについてはまだ十分にわかっていません。そこで本研究においては、精神科における診療ガイドラインの講習を行い、その医療機関における治療に影響を与えるかどうかについての検討を行い、精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果を、講習を受けた医師への調査と一般診療情報から検証し、より適切な治療が広く行われることを目的としております。

本研究は、文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」を遵守して実施します。研究結果は、個人が特定できない形で学会・学術雑誌にて発表する予定です。

- ・患者登録にかかる調査対象期間：2026年11月30日まで
- ・データ解析期間：実施承認日～2027年1月31日
- ・研究期間：実施承認日～2027年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、名古屋大学医学部附属病院において精神科治療を受けた患者さんに関して、カルテに記載された以下のような一般診療で得られる情報だけを対象としデータ解析します。個人が特定できるような氏名・生年月日・住所などは、これらの情報に結びつかないように保管されます（匿名化）。

- ・年齢、性別、診断、担当医師名などの基本情報
- ・処方データ（単剤治療やガイドラインで推奨されていない向精神薬の処方など）
- ・治療方法（mECT やクロザピン治療など）
- ・症状データ（精神症状評価：陽性・陰性症状評価尺度、ハミルトンうつ病評価尺度、機能の全体的評価尺度など）

したがって本研究のために新たな検査、治療法が追加されることはありません。

#### 4. 外部への試料・情報の提供

上記の匿名化した一般診療情報は、代表施設である大阪大学医学部附属病院神経科・精神科に送付され、管理・解析されます。また、代表研究機関から、本学を含む他の共同研究機関に送られて、さらに解析されることがあります。

送付の際は、匿名化したデータのファイルにさらにパスワードをかけ、十分に安全を確保した上、電子的に配信します。

#### 5. 研究組織

##### EGUIDE プロジェクトチーム

公式ホームページ <http://sp-web.sakura.ne.jp/eguide/eguide-team.html>

#### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：施設責任者（下記）

##### 施設責任者（連絡担当者）

名古屋大学医学部附属病院精神科 小笠原一能（特任助教）

Tel: 052-744-2942（内線 5747）

##### 研究責任者

名古屋大学医学部附属病院精神科・親と子どもの心療科 尾崎紀夫（教授）

##### 研究代表者

大阪大学医学部附属病院神経科・精神科 橋本亮太（准教授）